

事業の目的		心身に障害のある就学前の子どもを受け入れ、個々の状態に応じた保育を実施し、家庭との相互協力のもとに、心身の発達を促していくことを目的とします。			
支援方針		子どもが日常生活における基本動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう支援します。また、養育の主体である保護者の養育上の不安の軽減や解消を図るとともに、障害に関する正しい知識を持ち、こどもとの関わりに見通しがもてるよう支援します。			
サービス提供時間		8時30分～17時	基本的な療育時間	10時～14時30分	送迎実施
		あり 通園バスでの送迎(乗車条件あり)			
		支援内容			具体的な活動や支援の環境
本人支援	健康・生活	見通しを持って健康で安全な生活が送れるよう環境を整えます。 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援します。 基本的生活習慣のスキルが獲得できるよう支援します。			検温・視診・生活表を通じて健康状態の把握 手洗い・うがい・排泄・着脱・食事・身辺処理 身体測定
	運動・感覚	日常生活に必要な体の動き、姿勢保持、粗大運動、巧緻性の向上のための支援を行います。 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用できるよう遊びを通して支援します。			運動遊び(粗大運動・巧緻性) ・園庭あそび(複合遊具・ブランコ)・サーキット遊び(歩く・走る・跳ぶ・くぐる・登る・すべるなど) プール遊び・散歩・揺らし遊び・体操・リズム運動・ボール・縄跳び・マラソン 指先手先の活動(タオルかけ・スプーンフォーク箸の操作・はさみ・お絵描き・ボタン) 感触・感覚遊び ・粘土・スライム・寒天・砂・泥・水・泡・光遊び・楽器あそび・絵の具・新聞紙・紙・風船

	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援をします。 活動の中で情報を理解しやすいよう見える化し環境を整えます。 見通しを持って安心して落ち着いて生活できるよう環境設定をします。 活動を通じて、物の名前、色、大小、支援者からの指示の理解の向上を図ります。		写真や絵カード等によるスケジュールや次の活動の提示 朝の会 帰りの会 クッキング保育 玩具遊び グループ活動 制作
	言語 コミュニケーション	物の名称と言葉の一致、行動と言葉の意味の一致につながるよう支援します。 身振り、手振り、言葉などで自分の思いを伝えられる環境を作ります。 場面に応じた挨拶ができるよう支援します。		絵本 紙芝居 手遊びうた 朝の会 帰りの会 おやつ 玩具遊び わらべうた
	人間関係 社会性	周囲の人と安定した関係を形成できるよう支援します。 遊びを通して模倣行動の支援をします。 一人遊びから並行遊び、大人が介入して行う遊びを通して徐々に社会性の発達を支援します。		ふれ合いあそび 小集団での活動や簡単なゲーム ままごと 玩具遊び 朝の会 帰りの会 電車ごっこ
家族支援		サポート保育(延長保育)・面談・保育参観・ファミリーデー(保育参加)・子育てに関する学習会・家庭訪問	移行支援	移行先の保育所、学校等との連携、引継ぎ・園外保育・保育所等訪問支援・保育園との交流
地域支援・地域連携		相談支援事業所との連携 医療機関等専門機関との連携	職員の質の向上	年間計画に基づき月1回以上職場内研修を実施するとともに外部機関主催の研修に参加
主な行事等		バス遠足・こどもまつり・家族参観日・入園式・卒園式		